ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
74
2016.7

PHOTO: Kenshu Shintsubo
STYLING: Yoko Miyake
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

スウィートとクールを共存させた昔テイストのメイクが今の気分！ そのメイクが本当に似合うかどうかのジャッジ法もレッスン。

ブラウス ¥108,000（オランピア ルタン｜エドストローム オフィス）

今月のミューズが生まれるまで

澪さん
大学生
2016. 5. 7 at Daikanyama
Photo: UDA

今回は、澄んだ瞳の澪さんに声をかけた。「今、気になっているのが、昔っぽさを現代に置き換えたスタイル。それには、甘いけれど、クールな一面も必要。彼女の場合、もともと1970年代のムードがあって、可愛いけれど凛とした目元をもっている。だから、ピタッとハマる気がしたんですよね」（UDAさん）

リップに、アイドル的なローズピンクを使う一方、クリアなプラムネイルで、愛らしさを抑える。さらに、「カラーメイクに興味がある」という澪さんに、派手になりすぎないグリーンをアイラインに選んだ。ところが、「何かしっくりしない……」と、澪さん。そこで、UDAさんの勧めで鏡から一歩後ろに下がって再確認したところ、「あれ？ 良いかも！」と納得。「新しいメイクが似合わない？と思ったら変えたところばかりに、意識が向いている可能性も。そんなときは普段人と接するくらいの距離でチェックしてみると、本当に似合うか見極められます」（UDAさん）

ベースメイクは、素肌の質感を目指す。肌色の下地クリームを小さなブラシに取り、細かいムラや赤みを丁寧に補整することで、メイク感を抑える。チークは、目元に視線が集まるように、肌本来の赤みの位置から、顔の外に向けてフェイドアウトさせる形で入れる。アイブロウは、澪さんが眉尻を下げて整えていた形を、もともとの眉の形に描き、凛々しく。アイメイクは、黒のマスカラを塗ってから、グリーンのアイライン(1)を、目を開けた時に見える太さで目の形に沿って引く。さらに、下瞼の目尻から3mmほどの位置に、ピンクのリキッド(2)で丸い点をプラス。リップは、ローズピンク(3)、ネイルは透明感のあるプラム(4)を塗った。

4　3　2　1

1: マットなパステルグリーン。アクアエクセル #M-30 ¥2,600（メイクアップフォーエバー）
2: 光沢のあるくっきりピンク。メタルインク アイライナー #MEピンク ¥3,400（シュウ ウエムラ）
3: リッチな色彩で唇ふっくら。ヴェルヴェッティーズ リップ ペンシル #エイム トゥ プリーズ ¥2,800（M・A・C）
4: 透け感が軽やかな透明プラム。インテグレート グレイシィ ネールカラー #92 ¥350 ＊編集部調べ（資生堂）

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。緻密な理論に基づく技は日々進化中。

美人化モデル募集中 『ニッポン美人化計画』では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました！ 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか？ 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza